

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん なごやふいはーもにーこうきょうがくだん 公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団	団体ウェブサイトURL	<a href="https://www.nagoya-phil.or.jp/">https://www.nagoya-phil.or.jp/</a>
代表者職・氏名	理事長 犬塚 力		
制作団体所在地	〒 460-0022 最寄り駅(バス停) 金山駅 愛知県名古屋市中区金山1-4-10 名古屋市音楽プラザ4F		
電話番号	052-322-2774		
ふりがな 公演団体名	なごやふいはーもにーこうきょうがくだん 名古屋フィルハーモニー交響楽団	団体ウェブサイトURL	<a href="https://www.nagoya-phil.or.jp/">https://www.nagoya-phil.or.jp/</a>
代表者職・氏名	理事長 犬塚 力		
公演団体所在地	〒 460-0022 最寄り駅(バス停) 金山駅 愛知県名古屋市中区金山1-4-10 名古屋市音楽プラザ4F		
制作団体 設立年月	昭和41年(1966)年7月		
制作団体組織	役職員 理事長 犬塚力、 副理事長 松雄俊憲、牧野利香、 専務理事 月東靖詞、 常務理事 長谷川いづみ、 ほか顧問4名、理事14名、監事2名、 評議員19名、諮問委員29名、参与15名	団体構成員及び加入条件等 (1)団体構成員 指揮者5名、コンサートマスター5名、 コンポーザー・イン・レジデンス1名、楽員67名、 事務局員16名 (2)加入条件 楽員は一般公募オーディションにより採用	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	演奏事業部 友澤麻里奈
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	演奏事業部課長 岩澤陽介
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	<a href="mailto:tomozawam@nagoya-phil.or.jp">tomozawam@nagoya-phil.or.jp</a>		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p><b>【沿革】</b>  昭和41(1966)年 結成  昭和46(1971)年 音楽総監督に岩城宏之、常任指揮者に福村芳一就任  昭和48(1973)年 名古屋市の出捐により財団法人化  昭和49(1974)年 音楽総監督に森正、常任指揮者に荒谷俊治就任  昭和56(1981)年 音楽総監督兼常任指揮者に外山雄三就任  昭和62(1987)年 常任指揮者にモーシェ・アツモン就任  昭和63(1988)年 ヨーロッパ2ヶ国ツアー実施、「パリ夏のフェスティバル」参加  平成05(1993)年 常任指揮者に飯守泰次郎就任  平成10(1998)年 音楽総監督に小林研一郎就任、アジア8ヶ国ツアー実施  平成15(2003)年 常任指揮者に沼尻竜典就任  平成16(2004)年 ヨーロッパ3ヶ国ツアー実施、「ブラハの春」国際音楽祭参加  平成18(2006)年 アジア7ヶ国ツアー実施、定期演奏会2公演化  平成20(2008)年 常任指揮者にティエリー・フィッシャー就任  平成24(2012)年 愛知県より認定を受け公益財団法人化  平成25(2013)年 常任指揮者にマーティン・ブラビンス就任  平成28(2016)年 音楽監督に小泉和裕就任、創立50周年記念事業実施  令和05(2023)年 音楽監督に川瀬賢太郎就任</p> <p><b>【主な受賞歴】</b>  平成02(1990)年 東海テレビ文化賞  平成03(1991)年 愛知県芸術文化選奨文化賞  平成09(1997)年 文化庁芸術作品賞レコード部門  令和02(2020)年 第32回ミュージック・ペンクラブ音楽賞「現代音楽部門賞」</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>令和5年度(2023-24)  ▶豊田市内中学3年生(約4,000人)を対象としたコンサート／5公演  ▶愛知県内私立高等学校全校生徒(約1,400人)を対象とした芸術鑑賞会／1公演  ▶名古屋市内小学校移動音楽鑑賞教室／7校9公演(体育館開催)  ▶名フィル楽員がやってきた！(名古屋市内小・中学校に楽員を派遣するアウトリーチ活動)／1校  ▶出会いの教室(東海市内の小学4年生を対象としたアウトリーチ活動)／13校38回実施  ▶東海市内小学5年生、中学2年生(約2,400人)を対象とした芸術鑑賞会／4公演</p> <p>令和6年度(2024-25)※9月30日時点  ▶愛知県内私立中学校全校生徒(約1,200人)を対象とした芸術鑑賞会／1公演  ▶豊田市内中学3年生(約4,000人)を対象としたコンサート／5公演  ▶三重県内私立高等学校全校生徒(約1,000人)を対象とした芸術鑑賞会／1公演  ▶名古屋市内小学校移動音楽鑑賞教室／4校5公演(体育館開催)  ▶出会いの教室(東海市内の小学4年生を対象としたアウトリーチ活動)／13校39回実施  ▶名フィル楽員がやってきた！(名古屋市内小・中学校に楽員を派遣するアウトリーチ活動)／1校  ▶豊田市アウトリーチ事業(豊田市内の小学校に楽員を派遣するアウトリーチ活動)／2校</p>		
<p>特別支援学校等 における公演実績</p>	<p>令和元年度(2019-20)  ▶「文化芸術による子供育成総合事業(巡回公演事業)」において、  三重県立盲学校にて公演／1公演</p> <p>令和3年度(2021-22)  ▶「文化芸術による子供育成総合事業(巡回公演事業)」において、  山口県立田布施総合支援学校にて公演／2公演 ※WSのみ実施  山口県立宇部総合支援学校にて公演／2公演  ※上記2校は新型コロナウイルス感染症の影響により開催が困難であったため中止</p> <p>令和6年度(2024-25)  ▶「舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)」において、  岐阜県立岐阜豊学校にて公演／1公演</p> <p>平成11年度(1999-2000)より毎年度  ▶「夢いっばいの特等席」福祉コンサートを実施  ※障がいのある方々を対象に、様々な会場の環境整備を行なった“特等席”コンサートで、これまでに愛知・岐阜県下で80公演を開催。各地域の障がいのある方々の施設・団体や、特別支援学校に通う方々から好評を得ている</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>無</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
		<p>PW:</p>	

別添	あり			
公演・ワークショップの内容		【公演団体名 名古屋フィルハーモニー交響楽団】		
対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	クラシックって、どえりやあ面白いがや！			
企画のねらい	<p>これまでに実施した本事業や音楽鑑賞教室での経験を踏まえ、子供たちや先生、演奏者からも好評であった前年度に実施したプログラムをもとに構成しました。今回は名古屋をテーマにした楽曲を取り入れていることから、公演名にも名古屋の方言“どえりやあ”を採用しました。地域に伝わる文化のひとつである方言を公演名に使用する事で、より名古屋のオーケストラを身近に感じてもらいたいと考えています。音楽の授業で教わっている楽曲を中心にオーケストラの迫力ある演奏はもちろん、ソリスト・司会には男性オペラ歌手3名を起用し、本格的なオペラ歌曲から合唱曲まで幅広いジャンルの歌をお贈りするとともに、息のあったトークで演奏会を盛り上げます。また子供たちもオーケストラを鑑賞するだけでなく、合唱やボディ・パーカッション、吹奏楽などでの共演、指揮者体験コーナー等といった参加型プログラムを取り入れることで、興味を引き立てられるよう工夫しています。合唱共演の前にはプロの歌手から発声方法や歌い方の指導を行なうことで、学校全体の合唱のレベルアップにも繋がると考えています。子供たちにとって身近な学校の体育館で歌とオーケストラの豪華共演が実現しますので、是非子供たちのみならず先生や大人たちにも楽しんで貰いたいと考えています。</p>			
演目概要・演目選択理由	<p>・演目概要 別添あり(別添1)</p> <p>・演目選択理由 上記ねらいに基づいた演目に、“名古屋フィルハーモニー交響楽団(愛称:名(めい)フィル)でしか聴けない”、下記のようなエッセンスを加味しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★《しゃちほこゴールドン・マーチ》は名フィルのコンポーザー・イン・レジデンスが作曲し、名古屋城のシンボルである「しゃちほこ」、そして名古屋の食には欠かせない「味噌」を用いた音形など、名古屋をテーマとした楽曲となっています。</li> <li>★《春夏秋冬》は名フィルが独自に作成したオリジナルの楽器紹介曲です。ナレーション付きで分かりやすく紹介します。</li> <li>★《愛いもなく》での笑い声は、オペラ歌手が担当します。名フィル独自の演出で演奏を盛り上げます。</li> <li>★ボディ・パーカッションは、名フィルが用意したオリジナルの振り付けをします。</li> <li>★《木星》は山本直人氏(名フィル・元首席オーボエ奏者)による、名フィルだけのオリジナル編曲版をします。</li> <li>★《各校校歌》は編曲し、リハーサルにて録音したカラオケCDを贈呈します。公演後も学校で歌う際に末永くご活用ください。</li> </ul>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>★児童・生徒全員を対象とした共演・体験 《合唱曲》と《各校校歌》の合唱共演、《天国と地獄》と《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》でのボディ・パーカッション、《Do Re Mi Fa Sol La Si Do !》の参加は、児童・生徒全員を対象に実施します。オーケストラの伴奏で歌ったり、身体を動かしたりする経験や思い出は、一生のものとなるはずです。</li> <li>★特定の児童・生徒による共演・体験 《ハンガリー舞曲第5番》での指揮者体験は、3名程の児童・生徒にオーケストラを実際に指揮していただきます。客席から見るだけでは分からない、指揮台に上がって見る景色や気持ちは、特別な体験となるでしょう。中学生対象の吹奏楽部との共演では、学校の実情に合わせて曲目を選定、必要に応じて編曲を行い共演を実施します。</li> </ul>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	会場収容人数内であれば制限なし	
		鑑賞人数目安	会場収容人数内であれば制限なし	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	別添あり(別添2)		公演時間 90 分	
出演者	<p>指揮:辻博之,喜古恵理香 歌・司会・ナレーション・笑い声:吉田連(テノール),大川博,高橋洋介,又吉秀樹(バリトン) ※ソリストは上記うち3名が出演 管弦楽:名古屋フィルハーモニー交響楽団(2管10型) ※歌唱を考慮し10型で実施予定 別添メンバー表あり(別添3)</p>			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>・辻博之(指揮) 東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。在学中より、著名指揮者のもと新作を含む多くのオペラプロダクションにて、副指揮者、合唱指揮者をつとめ、国内の様々な劇場にて研鑽を積んだ。オーケストラの分野では2017年にオーケストラ・アンサンブル金沢の定期演奏会にデビューし、その後も全国各地のプロ・オーケストラと共演。楽しいお話を交えた家族で楽しむコンサート、赤ちゃんと一緒に参加できる合唱団等、(音楽を未来と繋ぐ活動)にも力を注ぎ続けている。</p> <p>・喜古恵理香(指揮) 東京音楽大学、同大学院に学ぶ。これまでに広上淳一、汐澤安彦、下野竜也、田代俊文、三河正典の各氏に師事。2017年9月からNHK交響楽団よりパーヴォ・ヤルヴィ氏のアシスタントに任命され、2年間アシスタントコンダクターを務めた。2022年、広島で行なわれた次世代指揮者コンクールにて第3位入賞、同時に聴衆賞、オーケストラ賞を受賞、全国各地のオーケストラと共演を重ねている。</p>			

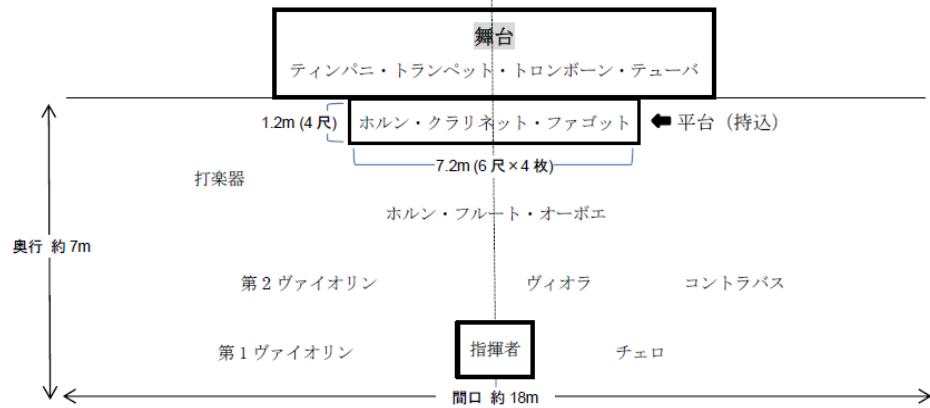
<b>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む</b>	出演者: 62 名	<b>運搬</b>	積載量: 4 t
	スタッフ: 9 名		車長: 8 m
	合計: 71 名		台数: 1 台

<b>本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安</b>	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間			時間程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9:00	9:00~11:00	13:30~15:00	10分	15:00~16:30	16時30分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

<b>本公演 実施可能日数目安</b>  <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月	7月	8月	9月
	4日	3日		4日
	10月	11月	12月	1月
	9日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計

(図1) 公演舞台配置図



公演に係るビジュアルイメージ(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



(図2) 実際の公演の様子  
《木星》



(図3) 実際の公演の様子  
《ハンガリー舞曲(指揮者体験)》



(図4) 実際の公演の様子  
《シャンパンの歌》



(図5) 実際の公演の様子  
《天国と地獄(ボディ・パーカッション)》

著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある 場合	権利者名	許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 名古屋フィルハーモニー交響楽団】

ワークショップのねらい	<p>一度しかない本公演において、公演内容や児童・生徒との共演をより効果的なものにするため、プロの演奏家が実演を含めて指導を行います。机上や映像では学べない充実した内容で、より本公演への期待を高めます。</p> <p>本公演前の事前ワークショップは学校とオーケストラを結ぶ最初の接点であり、内容については下記3点を重視し、指導者にも徹底しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童・生徒が音楽に興味を抱き、本公演への期待を高める内容であること</li> <li>2. 児童・生徒参加型企画の音楽的完成度を高められる内容であること</li> <li>3. オーケストラとの共演という貴重な機会を活かし、児童・生徒自身が自発的にコンサートに参加したくなる環境づくりができること</li> </ol>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	会場収容人数内であれば制限なし
ワークショップ実施形態及び内容	<p>標準:90分(45分×2公演)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 主指導者と補助者によるミニ・コンサート 楽員を中心とした弦・管・打楽器奏者、歌手、ピアニスト等を派遣。オペラ歌手の歌声や楽器の音色を生で体感してもらい、コンサートへの興味喚起を促します。</li> <li>2. 楽器構成や歴史、本公演の演奏曲目紹介などを含めたオーケストラ講座 オーケストラの歴史と楽器構成、本公演のプログラムを、イラストを用いたオリジナル資料や演奏音源、実演をもとに、分かりやすく解説。演奏会に出かけたことのない子供たちにも、拍手の仕方から鑑賞マナーを解説しつつ、決して敷居の高いものではなく、リラックスして楽しめるものだと説明します。</li> <li>3. 歌唱指導(合唱共演) 本公演で共演する合唱曲について、発声やオーケストラと合わせるためのポイントを指導します。</li> <li>4a. &lt;小学生・中学生対象&gt;共演曲指導(ボディ・パーカッション共演)※中学生は選択 《天国と地獄》、《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》のボディ・パーカッション指導では、実演に合わせて叩き方のポイントを説明します。</li> <li>4b. &lt;中学生対象&gt;共演曲指導(楽器・声の共演)※中学生は選択 《Do Re Mi Fa Sol La Si Do!》の指導では、音楽に合わせた演奏方法を指導します。</li> <li>5. &lt;中学生対象&gt;共演曲指導(吹奏楽部との共演)※中学生は選択 プロの演奏者から、オーケストラと合奏する際の心構えをはじめ、普段の部活では体験できないより一歩踏み込んだ音楽的な指導を実施します。</li> <li>6. 質問コーナー 音楽に対する姿勢や楽器ごとの苦労話など、なかなか聞くことのできない質問を、プロの演奏家が直接受け付けます。</li> </ol>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>★ボディ・パーカッション等の楽譜は事前に学校へお送りしますので、可能な範囲で授業等での練習をお願いいたします。なお、ワークショップまでに必ず習得する必要はありません。</p> <p>★児童・生徒の並び方は学校の要望に応じます。</p>		



(図6)ワークショップの様子

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
本事業への応募理由	【公演団体名 名古屋フィルハーモニー交響楽団】
<p style="text-align: center;"><b>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</b></p>	<p><b>①本事業に対する取り組み姿勢</b>  交響管弦楽による音楽芸術の普及向上を図り、文化の発展に寄与することを目的とする。前条の目的を達成するため、青少年の音楽鑑賞の指導及び普及事業を行う。  (名古屋フィルハーモニー交響楽団 定款 第2章第3,4条より)</p> <p>上記の通り、青少年への音楽鑑賞事業は名古屋フィルハーモニー交響楽団の存在意義でもあります。オーケストラによる上質な音楽を、多感な青少年の時期に提供することにより、その後の人生が豊かなものになることを願うとともに、未来を担う子供たちには社会におけるオーケストラの必要性を理解し、末永く愛してもらいたいと考えています。</p> <p>平成25年度からの本事業では、12年連続で118校以上を巡回しております。学校の先生方からは「今まで音楽にあまり興味のなかった子も、音楽の授業に積極的に参加するようになった」、「学校での音楽の話題が増え、歌声が響く学校になった」、「音楽は人の心を動かす力があると改めて感じる事ができた」、など嬉しい声が届いているほか、子供たちからも「オーケストラは初めて聴いたけど、もっといろんなコンサートも聴いてみたい」、「プロの演奏を間近で聴いて、こんな音が出せるようになってほしいと思った」、「オーケストラが一生懸命演奏しているのを見て、自分も頑張ろうと思った」など多くの感想を頂き、間近で体感するオーケストラの音圧・迫力に感動し、目を輝かせる子供の姿も見受けられました。普段オーケストラに気軽に接することができない子供たちに、その子供たちのホームグラウンドである学校・体育館で、生の管弦楽をお聴かせすることができることに、大きな意義を感じています。</p> <p>今回提案しているプログラムについては、前年度に実施した際に学校の生徒や先生、演奏者からも好評であった内容をもとに構成しています。本格的な演奏の鑑賞はもちろん、共演・参加型のプログラムを組み込むほか、コンポーザー・イン・レジデンスによる楽曲、名フィル独自の分かりやすい解説を入れた楽器紹介曲など名フィルらしさを取り入れており、公演名にもあるとおり「クラシックって、どえりゃあ面白いがや!」と感じられるよう選考を重ねたものです。合唱共演ではプロのオペラ歌手として活躍する歌手から歌う際のポイント指導を行なうなど、豪華オーケストラ伴奏に合わせて一緒に歌う楽しさを味わってもらいます。またもう一つの共演プログラムとして、小学生は全校児童を対象にしたボディ・パーカッション、中学生では全校生徒を対象にしたボディ・パーカッション、任意の楽器や声での共演、吹奏楽部との共演を選択式で取り入れています。ボディ・パーカッションでは名フィルのオリジナルの振り付けを用いてオーケストラの演奏に参加してもらいます。また吹奏楽の共演では、学校側が指定する吹奏楽曲に弦楽器を加える形で編曲を行なうなど、各学校のレベルに合わせて共演できるよう配慮した上でオーケストラと共演します。“共演・参加型”にすることで、オーケストラと一緒にコンサートを創り上げる楽しさ、喜びを感じてもらい、本公演を通してオーケストラやクラシック音楽がより身近な存在であることを伝えられるプログラムを提供します。</p> <p>いずれも本事業の主旨にある「芸術性に富むもの」「児童・生徒が興味をもって鑑賞できるもの」「教育的効果が高いもの」、このすべてを満たすことのできるプログラムであると、自信をもっていきます。</p> <p><b>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</b>  当然ながらオーケストラの公演に慣れていない学校の体育館で行なわれるコンサートであり、受け入れ側の担当教員も実施に際し不安を感じる点が多々あると考えられます。それらを解消すべく、下記事項を実施します。</p> <p>★学校との密接なコミュニケーションの重視</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 受け入れ決定から本公演実施まで、スケジュール概要を作成</li> <li>2. 概要をもとに、いつ、何が必要かを各学校に説明</li> <li>3. 概要には担当スタッフの連絡先、特にメールアドレスや携帯番号も記載</li> <li>4. 質問への的確・迅速な回答を意識し「要望が言いやすい環境づくり」を実施</li> </ol> <p>平成26年度から上記4事項を重点的に実施していますが、会場に関する質問(体育館ではなく別の会場で実施したい等)や、公演に関する質問(共演時に学校所有の平台を使用したい等)など、担当教員からの連絡が増えていると感じており、「要望が言いやすい環境づくり」が功を奏していると認識しています。</p> <p>学校側の要望に最大限配慮し、期待に応えた公演の実現と成功に向け、令和7年度以降も継続して実施していきたいと考えています。</p>

別添1 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名 名古屋フィルハーモニー交響楽団】
演目概要・演目選択理由	<p>・演目概要</p> <p><b>1. 小出稚子(名フィルコンポーザー・イン・レジデンス):しゃちほこゴールデン・マーチ</b> 名古屋城のシンボルである「しゃちほこ」、そして名古屋の食には欠かせない「味噌」など、名古屋をテーマにした心躍るような軽快なマーチ曲でコンサートの幕開け！児童・生徒の皆さんをオーケストラの世界へ一気に惹きつけます。</p> <p><b>2. デンツァ:フニクリ・フニクラ</b> 「登山列車に乗ろう！」と歌われる人気イタリア歌曲を、日本語とイタリア語(原語)、2つの言語で演奏します。間近で聴くオペラ歌手の歌声に、感動すること間違いなし！</p> <p><b>3. カジノユキ[編]:オーケストラで聴く日本の名曲『春夏秋冬』</b> オーケストラを構成する各楽器を、日本の四季を代表する名曲「早春賦」、「われは海の子」、「紅葉」、「雪」のメロディに乗せて、メドレー形式でご紹介します。ナレーションも合わせて、目と耳の両方でお楽しみください。</p> <p><b>4. 合唱共演(選択制)</b> どの学校でも音楽の授業をはじめ様々なシーンで合唱曲が歌われています。そんな愛唱されている合唱曲を、ピアノ伴奏ではなく、豪華オーケストラ伴奏と一緒に歌いましょう。プロの歌手と一緒に歌うことで、学校全体の合唱のレベルアップが期待できます。</p> <p><b>5. オッフエンバック:喜歌劇『天国と地獄』より「カンカン」</b> (小学生対象/ボディ・パーカッション共演) 子供たちの身体そのものを楽器としたボディ・パーカッションを実施します。オペレッタの中でも出てくる「カンカン踊り」をモチーフにした名フィルオリジナルの振り付けで、オーケストラとの共演が実現します！</p> <p><b>5a. 吹奏楽曲</b> (中学生対象選択/[吹奏楽部との共演]) 吹奏楽部で普段から管・打楽器を演奏している生徒にとって、この体育館での演奏会はまた特別な時間となるでしょう。プロの奏者たちと並んで、オーケストラの名曲や、普段練習している吹奏楽曲と一緒に演奏できるチャンスです！</p> <p><b>5b. 芥川也寸志:Do Re Mi Fa Sol La Si Do !</b> (中学生対象選択/楽器・声の共演) 音楽の共通語でもある音階“ドレミファソラシド”をモチーフに、さまざまに音楽が展開されていく1曲。リコーダーなど任意の楽器や声でオーケストラの演奏に参加していただきます。</p> <p><b>5c. モーツァルト:セレナード第13番『アイネ・クライネ・ナハトムジーク』第1楽章</b> (中学生対象選択/ボディ・パーカッション共演) 言わずと知れたモーツァルトの有名曲。2パートに分かれて名フィルオリジナルの振り付けでボディ・パーカッションを実施します。</p> <p><b>6. J.シュトラウスⅡ世:喜歌劇『こもり』より「シャンパンの歌」</b> 『こもり』は喜歌劇の中で最も人気のある作品のひとつ。豪華なパーティで競うように歌い合っ盛上がる場面で演奏される「シャンパンの歌」をオペラ歌手の歌声と共に楽しみてください。</p> <p><b>7. カプア:オ・ソーレ・ミーオ</b> 世界中で歌われるカンツォーネの名曲で、イタリアをそのまま歌にしたような熱烈な愛の歌。オペラ歌手たちの熱い歌声で学校の体育館ごとイタリアへと誘います。</p> <p><b>8. ブラームス:ハンガリー舞曲第5番</b> ロマに伝わる音楽を、全21曲の曲集にまとめた大作曲家ブラームス。その中から、小気味良いリズムと変わるテンポで有名な「第5番」を用いて、オーケストラの指揮者体験をしていただきます。</p> <p><b>9. ハーライン:星に願いを</b> クラシック音楽だけでなく、映画音楽もお楽しみいただけます。映画『ピノキオ』の主題歌でもある「星に願いを」はディズニーを象徴する音楽のひとつ。オーケストラで聴く圧倒的な迫力と臨場感は別格です！</p> <p><b>10. Jos.シュトラウス:ポルカ『憂いもなく』</b> クラシックでは珍しい“笑い声”が入るとも愉快な曲。本来は演奏者が笑いますが、今回はオペラ歌手が笑い声を担当します。オペラ歌手の本気の笑い声に、思わず笑顔になってしまうことでしょう。</p> <p><b>11. 東海林修:怪獣のパラード</b> オペラ歌手3人による本気合唱をお贈りします。名フィルが独自に編曲した豪華オーケストラ伴奏と、重厚すぎる男声合唱の響きをお楽しみください。児童・生徒のみならず、先生等の大人にも聞いてもらいたい1曲です。</p> <p><b>12. ホルスト:組曲『惑星』より「木星」</b> “ジュピター”のタイトルでもおなじみの「木星」。巨大編成により学校公演での演奏が難しかった作品ですが、その魅力・迫力を損なわず、体育館でも演奏できるように、独自に編曲した版を使用します。</p> <p><b>13. 宮本正太郎ほか[編]:各校校歌</b> アンコールは学校に通う児童・生徒なら誰もが知っている『校歌』です。前奏を聴いて「おおっ」となることは間違い無し、通常歌っているピアノ伴奏とはひと味もふた味も違う、ゴージャスな管弦楽伴奏版です！</p>	



別添2 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。


リンク先	No.2	【公演団体名 名古屋フィルハーモニー交響楽団】
本公演演目		<p>【コンサートの幕開け！】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小出稚子(名フィル コンポーザー・イン・レジデンス):しゃちほこゴールデン・マーチ</li> <li>2. デンツァ:フニクリ・フニクラ ※ソリストによる歌唱</li> </ol> <p>【みんな知ってた？オーケストラを徹底解剖】(楽器紹介コーナー)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3. カジノユキ[編]:オーケストラで聴く日本の名曲「春夏秋冬」 ※ソリストによるナレーション</li> </ol> <p>【オーケストラと共演しよう！】(共演コーナー)</p> <p>～小学生対象～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4. [合唱共演]※①～④から選択       <ol style="list-style-type: none"> <li>①杉本竜一:BELIEVE</li> <li>②村井邦彦:翼をください</li> <li>③平吉毅州:気球に乗ってどこまでも</li> <li>④学校が希望する合唱曲</li> </ol> </li> <li>5. [ボディ・パーカッション共演]          オフエンバック:喜歌劇『天国と地獄』より「カンカン」</li> </ol> <p>～中学生対象～ ※5はa～cから選択</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4. [合唱共演]※①～④から選択       <ol style="list-style-type: none"> <li>①杉本竜一:BELIEVE</li> <li>②村井邦彦:翼をください</li> <li>③ミマス:COSMOS</li> <li>④学校が希望する合唱曲</li> </ol> </li> <li>5a. [吹奏楽部との共演]          ※共演曲の曲目は、学校のリクエストに応じて決定          例)エルガー/威風堂々などクラシックの名曲のほか、吹奏楽曲での共演も可能</li> <li>5b. [楽器・声の共演]          芥川也寸志:Do Re Mi Fa Sol La Si Do !</li> <li>5c. [ボディ・パーカッション共演]          モーツァルト:セレナーデ第13番『アイネ・クライネ・ナハトムジーク』第1楽章</li> </ol> <p>【歌と楽器 力を合わせて♪】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6. J.シュトラウスⅡ世:喜歌劇『こうもり』より「シャンパンの歌」 ※ソリストによる歌唱</li> </ol> <p>《休憩(10分)》</p> <p>【後半も飛ばしていくよ！】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>7. カプア:オ・ソーレ・ミーオ ※ソリストによる歌唱</li> </ol> <p>【マエストロは君だ！指揮者体験コーナー】(指揮者体験コーナー)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>8. プラームス:ハンガリー舞曲第5番</li> </ol> <p>【夢の世界へ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>9. ハーライン:星に願いを(映画『ピノキオ』より)</li> </ol> <p>【オーケストラって、どえりゃあ面白いがや！】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>10. Jos.シュトラウス:ポルカ『愛いもなく』</li> </ol> <p>【俺たちの合唱祭】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>11. 東海林修:怪獣のバラード ※ソリストによる歌唱</li> </ol> <p>【クライマックス！音楽はついに国境を越え宇宙へ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>12. ホルスト:組曲『惑星』より「木星」</li> </ol> <p>【名フィル流サプライズアンコール！】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>13. 宮本正太郎ほか[編]:各学校校歌</li> </ol> <p style="text-align: right;">公演時間:90分</p>

別添3 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先

No.2

【公演団体名 名古屋フィルハーモニー交響楽団】

公益財団法人  

**名古屋フィルハーモニー交響楽団**  
 音楽監督 川瀬賢太郎



## 出演者

音楽監督  
**川瀬賢太郎**

名誉音楽監督  
 小泉 和裕

桂冠指揮者  
 小林研一郎

名誉指揮者  
 モーシェ・アツモン

名誉客演指揮者  
 ティエリー・フィッシャー

コンサートマスター  
 小川 響子  
 森岡 聡  
 後藤 龍伸

首席客演コンサートマスター  
 荒井 英治

特別客演コンサートマスター  
 山本 友重

アシスタント・  
 コンサートマスター  
 矢口十詩子  
 米田 誠一

ヴァイオリン  
 小森 絹子 ◎  
 (第2ヴァイオリン)  
 瀬木 理央 ◎  
 (第2ヴァイオリン)  
 川上 裕司 ○  
 (第2ヴァイオリン)

大竹 倫代  
 小椋 幸恵  
 尾高詩音里  
 神戸 潤子  
 小泉 悠  
 合田 有里  
 小玉 裕美  
 酒井 愛里  
 山洞 柚里  
 田中 光  
 中西 俊哉  
 日高みつ子  
 平田 愛  
 牧野 葵  
 松谷 阿咲

ヴィオラ  
 石橋 直子 ◎  
 叶澤 尚子 ◎  
 今村 聡子 ○  
 小林伊津子 ○  
 池村 明子  
 小泉 理子  
 紫藤 祥子  
 寺尾 洋子  
 吉田 浩司

チェロ  
 太田 一也 ◎  
 アイリス・  
 レゲザ◎  
 酒泉 啓 ○  
 佐藤 有沙 ○  
 新井 康衛  
 小笠原恭史  
 加藤 泰徳  
 幸田 有哉

コントラバス  
 上岡 翔 ◎  
 佐渡谷綾子 ◎  
 井上 裕介  
 北島 明翔  
 坂田 晃一  
 永井 桜

フルート  
 大久保成美 ◎  
 富久田治彦 ◎

オーボエ  
 上品 綾香 ◎  
 竹生 桃  
 寺島 陽介

クラリネット  
 ロバート・  
 ボルジョス ◎  
 浅井 崇子

ファゴット  
 ゲオルギ・  
 シヤシコフ ◎  
 田作 幸介 ◎  
 三好 彩

ホルン  
 安土 真弓 ◎  
 猪俣 和也  
 小坂 智美  
 津守 隆宏

トランペット  
 井葉野晃暢 ◎  
 宮本 弦 ◎  
 坂本 敦  
 松田 優太

トロンボーン  
 香川 慎二 ◎  
 田中 宏史 ◎

テューバ  
 林 裕人

ティンパニ&打楽器  
 塩田 健志 ◎  
 ジョエル・  
 ビードリツキー ◎  
 菅生 知巳

◎ 首席  
 ○ 次席

(2024年9月現在)